

情 報 局 編 輯

# 週 報

昭和十九年四月十二日 第... 毎週一回水曜日發行

四月二十日 號

皇軍インドへ進撃す  
幹部候補生志願の關係書類と入學延期届の取扱  
日ソ漁業と利権協定の成立  
決戦海上輸送問答

號 390

## 海運強化

五錢

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

## 週言

「窓を開けようではないか、少し詰め電車の中央から聲あり、みんなはつとしたやうに一齊に窓を開けた。さわやかな春風がさつと吹き入つて、人いきれでにぎり切つた空気を追ひ出してくれた。何故早く窓を開けなかつたのだらうか——車中のみんながそんな顔をしてゐた。

窓際に坐つてゐた人は、開けたら自分がうすら寒さを感じるのがいやで開けないのであらう。また真中の人は、肩越しに窓を開けるのがおつくうなのに違ひない。

「どうせ誰かがやるだらう」

「自分一人が先に立つてやることもないではないか」

かういふ氣持が恐らく春風をせき止めてゐたのであらう。

今日必要なのは、「さあやらう」と率先して窓を開けるこの人である。どこの職場にも、どこの隣組にも、かういふ人がどしどし現はれて來たら、戦力の増強も易々たるもの、必勝への道も自ら前進する。

## 皇軍、インドへ進撃す

大本營陸軍報道部



ビルマを奪回し、ビルマルートを開くことは、敵が久しく鳴り物入りで宣傳してゐたところであつた。ビルマの奪回は、敵として政略的に必要ならばかりでなく、軍事的にも重慶の抗戦力低下を防ぎ、且つ在支米空軍の強化によつて、對日攻撃の重要基地となりつゝある支那大陸における反樞軸軍を全面的に強化するために、その必要を感じるものであらう。

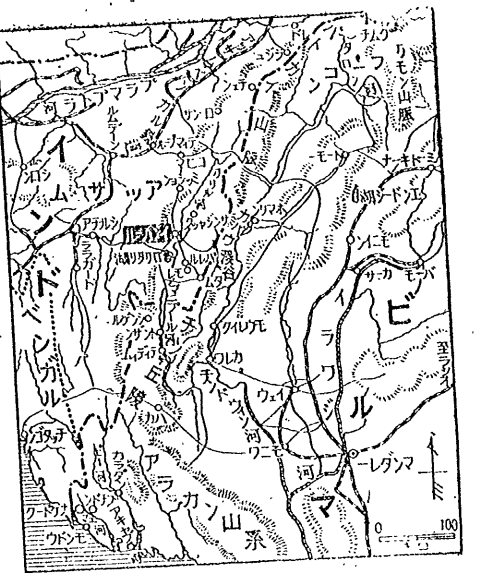
これがため昨年の雨季明け以後、緬印國境周邊の敵米英重慶軍の蠢動は漸く活潑を加へ來つた。これに對しビルマ方面のわが軍は、昨秋以來、敵の機先を制して各方面に攻撃を行つた。即ちまづ昨年十月上旬、怒江正面の

西南支那方面に兵力を集結中であつた重慶軍に對し、騰越、ミイトキーナ方面から攻撃を開始して、敵第三十六師を殲滅し、さらに十月末以來、フーコン地区に進出を企圖した敵米英重慶軍に對しては、巧妙な出血作戦によつて多大の損害を與へ、本年に入つては二月、ブチドン、モンドウ正面に滲透し來つた敵第十五軍團主力に潰滅的な打撃を與へる等、わが軍は敵反攻の始動を悉く封殺し、ビルマの安定を確保し來つたのである。

この間、敵はさらに各地に兵力を増加して反攻を續け、三月上旬にはカトサ附近の北ビルマに空挺部隊を降下させ、わが軍の背後を衝かんとしたばかりでなく、すでに平和となつた同方面を戦亂の巷と化し、良民を奪略する等の暴舉を敢てするに至つたのである。

この情勢に鑑み、わが軍は東部インドにおける敵反攻の策源を根本的源泉的に覆滅し、禍根を一掃するとともに、三月發起した中部緬印チン丘陵の敵第四軍團の一部を捕捉せる殲滅戦に伴つて、既に緬印國境に向ひ進撃を續けるインド國民軍を支援し、さらに自由印度假政府の獨立解放戦を徹底的に支援することに決して、三月中旬には國境を突破し、インド國內に進出したのである。

わが軍のこの進攻作戦の目的は、ビルマ方面陸軍當局談にもある通り、東インドの敵反攻の策源覆滅のため、敵米英將軍打倒に存し、インド及びインド民衆を敵とするものではなく、且つ毫も領土的野心を有するものでなく、わが軍進駐の一吋一尺の土地といへど



も、真の自由インドのものとなす用意を有するものである。

目下、わが軍の作戦は極めて快調に進行中であり、四月初めにおける状況は、だいたいの次の通りである。

**中部**

わが軍は三月二十八日、ミッシンにおいてインパール、コヒマ道を遮断したが、さらに他の地點でもこれを遮

断した。

インド防衛のため、中部國境防衛の任務を課せられた敵第四軍團の牙城インパールは、西方シルチアに通ずる道路と、北方コヒマに通ずる道路によつてアッサム、ベンガル鐵道に連絡してゐるのであるが、コヒマ道は既に遮断され、シルチア道は山岳を

繞つて隘谷が多く、吊橋が充満してゐるために大部隊の補給を続けるのが困難で、このため敵第四軍團主力は、ミアール盆地に釘づけされて孤立の運命に達着してゐる。

この敵第四軍團には、第十七、第二十、第二十三師等があり、わが軍のコヒマ道遮断によつて、既にインパール平地以南においてわが軍の包圍するところとなり、目下全面的に崩壊の兆がある。

**南部**

カラダ、ビー河間のビー山脈中に、西阿第八十一師團主力が據拠を占めようとしてゐるが、わが軍は目下これを捕捉攻撃中である。

マユ河左岸地帯ブチドン東北方とブチドン西南方附近においては、わが部隊は目下當面の敵に對し攻撃準備中である。なほ、わが有力な一部は、三月二十六日ナケドークに突進、敵に多大の損害を與へた。

**北部**

フーコン地区においては、アメリカ式に裝備訓練された在印重慶軍新編第二十三、第三十八の二ヶ師と米英混成二ヶ旅團が、レド接納公路(レド、マイソカン、ミイトキーナ、昆明、重慶道)を打通せんと必死の進出を強行してゐるが、わが部隊は、これをミイトキーナ西

北方地區において遊撃、敵に大なる出血を強ひてゐる。

また敵は、少將ウィングト摩下の兵員約三千と東部インドに駐屯中のグライグー降下旅團をもつて空挺部隊を編成し、同隊は約八十機のグライグーと數十機の輸送機で去る三月五日以降、暗夜を利用してビルマ領に侵入し、モニン東方四十キロとカシオ東方三十キロ附近に降下させ、航空部隊の主力をもつてこれが補給並びに増強を續けてゐるが、これに對し我が攻撃部隊の包圍

圍環は既に成り、その一部は早くも滅滅の憂目を見てゐる。

英陸軍當局は三月三十一日、ウィングトが飛行機事故で死んだ旨を發表してゐるが、戦死であることは分り切つたことであり、總指揮官の戦死によつて敵空挺部隊の士氣沮喪の程が察せられる。

本年度徴兵検査を受ける者の幹部候補生志願の關係書類と入營延期届の取扱に關する特例が、三月二十四日の陸軍省令で公布されたが、その要旨は次の通りである。

一、今まで徴兵検査の際に提出してゐた幹部候補生志願の關係書類は、徴兵検査場で陸隊區司令官等の點検を受けた上で、本人が入營または應召する際に提出して、所屬師團長

に提出すること。

二、陸隊區司令官(兵部事務官)は、甲種乙種合格者の志願關係書類を點検して、これに點検

の印を押捺するとともに、壯丁名簿に資格等の所要事項を記入すること。

三、幹部候補生が、禁錮以上の刑や破産の宣告を受け

たことがないといふ市町村長

の證明書は、必ずしも陸軍補

の證明書は、必ずしも陸軍補

の證明書は、必ずしも陸軍補

が、本年十月に延期されるは

は、従来通り十月十五日まで、

は、従来通り十月十五日まで、

# 日ソ漁業と利権協定の成立

去る三月三十日、モスクワで佐藤駐ソ大使とロゾフスキー外務人民委員代理との間に、漁業協約の五ヶ年延長と北樺太石油・石炭利権のソ聯への移譲に關する關係文書の署名調印が行はれたことは、先日發表された通りであるが、次に少し説明を加へてみよう。

## 漁業協約五ヶ年延長協定

日本人が沿海州、オホツク、カムチャッカ等のロシア領土内で漁業を営んだことは、ごく長い歴史をもつてゐるが、特に日露戦争後のポーツマス條約でこれを正式に明文化し、帝國臣民は別に定められる日露間の漁業協約に従つて漁業権を行使できることが確定されたが、當時、同方面にはロシア人の漁業家は殆んどなく、主として日本人によつて開拓經營されてゐた。

この間、わが國としては、常に右條約の修正された主な點を二、三擧げると、イ、期間が五ヶ年であること。元の條約は前述の通り八ヶ年であつた。

ハ、毎年行はれる漁場の競賣において、ソ聯側は勝手な入札價格をつけて競賣する虞れがあるので、これを制限し、たとひソ聯が多く競賣する場合も、その數は日本側所有の漁場中、競賣に出されるものの一割を超えてはならないことになつた。

ニ、現在の競争競賣中は、一定の公海を含む一定場所の漁業と、太平洋戦終るまでカムチャッカ東海岸の漁業はそれらやめること。これは戦時の特別措置である。

北樺太利権の移譲協定  
前に述べた大正十四年の日ソ基本條

約によつて、ソ聯は日本人にその領内の資源開發権を與へることを約束し、これに基づいて同年末、北樺太の石油・石炭利権が四十五ヶ年の期限で日本人に與へられ、關係會社が設立されて經營に當つて來た。

昭和五年から十二年の間には石油年二十一三十万トン、石炭年十五二十万トン程度を内地向けに搬出したが、る／＼な事情で、その後は兩企業とも産出量が減少し、政府は多額の補助金を交付して、辛うじて利権事業の名目を維持し、僅かに現地の自家消費を賄ふに過ぎなかつた。その上、ロシア労働者を含む多數従業員の衣食を、戦時不如意の中から持ち出すといふ不利もあるため、その經濟的價値も疑問視されてゐたのである。

一方、ソ聯政府は、革命直後こそ國內開發のために外國の資本・技術の導入政策をとつたが、五ヶ年計畫の進展と同時に數百の外國利権の回收に努力し、昭和五年のレナ金礦（ギョリ）利

權の解消を最後に、英米その他第三國の利権は、全くその姿を消し、我が石油・石炭利権だけが存続して來たのである。

以上のやうな兩企業の実狀と、ソ聯の意向から、北樺太石油・石炭利権の根本的解決は、早晩必至とみられてゐたが、遂に昭和十六年四月、モスクワで日ソ中立條約が結ばれた際の交渉に際し、この問題の解決について日ソ間に了解が成立したのであつて、その後獨ソ戦争と大東亞戦争が勃發したにもかゝらず、今回、漁業協約の期限延長問題と共に一括して處理されたわけである。

移譲條件は、日本が兩利権の現地財産をソ聯に移譲し、ソ聯は兩會社に對する一切の請求権を放棄するほかに、五百萬ルーブルを支拂ひ、また戦争終了後五ヶ年間、毎年石油五万トンを提供し、しかも日本にある兩企業會社の財産には手を觸れないことになつてをり、このほか日本側は、現在、北樺太の現

地に保管してゐる石油・石炭を無償で搬出し、また現地に在る銀行預金は、自由に處分できることになつてゐる。

なほ今回の移譲によつて、兩利権會社等の従業員、株主、社債権者や債権者等に對し、不測の損害を與へないやう十分考慮が加へられてゐることは勿論である。

漁業といひ、利権といひ、共に純經濟的、技術的問題であるが、帝國が英を相手に、大東亞の興廢を賭けた大戦争に従事し、ソ聯は米英と協同して、ドイツと死闘を續けてゐるときに、この二つの交渉が円満にまとまつたことは、注目し得るであらう。

特に、日ソ兩國の善隣關係を維持しようとする兩國政府の決意と努力が、數ヶ月に亘つた交渉の経緯を通じて明らかになつたことは、世界を吹きまくる戦争の大嵐にかゝらず、日ソ間に公正な關係が儼存するものであることを證明した點とともに特筆されてよからう。



# 決戦海上輸送問答

## 船舶もまた兵器なり

問 前線の敢闘に應へ、二機でも多くとは、私ども一億の逞しい合言葉となつてゐますが、船舶の増建といふことも、航空機と同様、まことに大切なことだと思ひますが……

答 實際さうです。戦局を左右する鍵は結局、航空機と船舶です。主材料であるボーキサイドは南方から、また軍艦や商船の建造に必要な鐵礦石は中支や南方から、さらに動力の基礎である石炭は北支から、といふやうに戦力増強に要する主な原材料の大半と、生

活必需物資の多くのものは、船舶によつて運ばねばなりません。

また兵站補給を始めとして、作戦には多くの船舶が必要ですから、これ等の重要な任務を擔ふ商船隊が十分にその使命を果すためには、十分な空軍力と海軍力とを以て制海権を掌握することが大切なことは勿論ですが、それと同時に船舶を飛躍的に増建して、商船勢力が敵米英の潜水艦や航空機の脅威を凌駕することが望ましいわけです。

## 軌道に乗つた計畫造船

問 航空機は、昨年度の數倍も増産され

もよるのですが、とにかく十九年度には、資材は物動計畫に織り込むことになり、大倉社には造船と造船を併せて行はせる方針で進んでをりますし、また陸海軍の積極的な協力が豫想されますので、急速に軌道に乗るものと思はれます。

## 重點産業としての造船

問 では、五重點産業の一つである船舶に對して、どのような方針が講じられてゐますか、一つ具體的に……

答 五重點産業の中でも鐵、石炭、輕金屬の三つは材料工業であるのに對し、船舶と航空機は綜合工業である點が特色ですが、それだけに複雑で、特に一口に船舶といつても、鋼船と木船とは、資材關係は勿論のこと、造船所の模様等も全然事情が異つてゐます。

即ち先づ第一に鋼船の方は、造船所と造船工場との能力、資材、勞務等、軍

てみるとのことですが、船舶の方はどうですか。  
答 鋼船の方は、昨年度の三倍近くも増強されましたが、これは昨年度の數字があまり大きくないので、三倍といつてもまだ「満足すべき數字」ではありません。今議會で海軍大臣は、十九年度は本年度の二倍、二十年度は四倍の増産の公算があると聲明されましたが、既に本格的に軌道に乗つてゐますから大いに期待してよいと思ひます。

一方、木船の方は、急にその重要性が叫ばれて以來、大資本の進出を促して大急になつて造船設備の新設擴充を圖つたのですが、今議會で海運總局長官が發表された通り、本年度の建造状況は、残念ながら良好とはいへませんでした。  
これは一面、我が國では、造船と造船とが各別に發達したため、工場も互に獨立してゐた關係上、兩者の間の綜合調整が巧くゆかない點が多かつたのに

艦の建造と共通した點が非常に多いので、兩方を巧く調整する必要があらす。そこで昭和十七年七月、長さ五十メートル以上の鋼船の製造、修繕、造船等、殆んど一切の権限を海軍大臣から海軍大臣に移管して、艦政本部で一元的に建艦、造船政策を行ふことになり、輸送の面を擔當する運輸通信省海運總局（元逓信省海務廳）では、參考資料として希望を申入れるといふことになり、行政機構は全く強化されました。

また木船の方は、監督、助成に關する権限が地方廳に委譲されましたので、中央で綜合的な造船計畫の大綱を企畫し、次に地方行政協議會や各都道府縣が中心になつて、地方的に建造の促進を行ふことになりました。

このやうな行政機構の強化に呼應して造船業界では、鋼船は造船統制會が、木船は日本木造船組合聯合會の下に地區木造船組合が、

それ／＼統制指導の術に當つてをります。  
次に建造方針としては、重要物資の輸送が目的ですから、客船、貨客船、特殊船等の建造は原則として抑制し、専ら貨物船と油槽船に重點を置いて、戰時標準型を定め、一つの造船所では、一、二の決つた船型の建造に専念させてゐます。

## 戰時標準船のネラヒ

問 では、戰時標準型の長所と短所についてお話し願ひます。

答 戰時標準型は船體、機關、附屬品、部分品の規格を一定して造船能率の向

十三日	また見方の花を尋ね	西	行
十四日	山中の賊を破るは早く心中の賊を破るは遅し	主	顯明
十五日	細心の餘り殺せざらん事を戒めたり	依	久間 勉
十六日	高くこゝろをさとりて俗に歸るべし	松	尾 芭蕉
十七日	勇往前一日は一日より新ならんことを欲す	伊	藤 仁 新
十八日	古をよみて今を慰むらあか	二	宮 輝 徳
十九日	事を先し知るを後し		



民營海員養成所一覽表

養成所名	定員	所在地
普通海員養成所	150名	廣島市中區吉原町一四
大阪	300名	大阪市港區出船町一ノ八
若松	70名	福岡縣若松市出船三丁目
神戶	360名	兵庫縣神戸市打出字大塚
兩館	130名	廣島市中區一五九
船員養成所第一	200名	廣島市中區山下町一〇七
船員養成所第二	150名	神戶市東區生田町三ノ三
船員養成所第三	50名	神戶市東區御船町五ノ二
船員養成所第四	50名	神戶市東區北野町四ノ一七〇
船員養成所第五	70名	兵庫縣特設郡廣島町
戸畑	130名	福岡縣戸畑市竹下町三五
廣島	540名	和歌山縣海南市名高八
小樽	60名	小樽市最上町一〇
三池	250名	酒田縣大森町三里町二ノ九八四
船員養成所第四	400名	愛知縣知多郡内海町字内
船員養成所第五	350名	神戶市東區東山町

備考 入學資格 養成期間等は概ね官立と同様也。

答 だいたい一トンの對して十石の木材が要りますから、二百五十トンの船では二千五百石の木材が必要で、先程お話をやうに、大船も五大重船業の中に入るわけですね。

答 勿論です。五大重船業のうちの船は、單に鋼船といふわけではないのですから、當然木船も入ります。しかも船といふと、ちよつと船體だけといふやうに簡單に考へますが、船には主機關、補助機、機裝品、船用品等いろいろのものが要りますが、これ等を造るのも、すべて船の製造の中に入ります。

海陸を結ぶ港灣と施設

問 話は一轉しますが、船船にとつては、母の懷ろともいふべき港灣についてお話し下さいませんか。

答 港といふのは、單に船のホテルといふだけのものではありません。多くの重要な工業地帯は必ず港灣に面して

ゐるやうに、工場に原料を運ぶにも、また製品を運出すにも、港を通過しなければなりません。港はこの水陸交通の連絡を擔當する重要な役目を引受けてゐるのですから、港灣の能力が即ち生産力といつても過言ではありません。この役目を果すために、港は單に地理的、自然的の條件だけではなく、人工的にいろいろの施設が必要で、例へば風波を防ぐ防波堤、接岸のための岸壁、棧橋、岸壁上には、荷物を揚積する起重機等の揚貨機類、そのほか卸積や荷物の類別のため一時貨物を保管する上屋や、倉庫といった港灣施設が必要で、

問 港灣施設に關して港灣荷役について一つ……

答 これ等の港灣施設を機械化して港灣作業力に弾力性を與へることが必要なのですが、我が國には、これ等の設備の完備した理想的な港灣は一つもないといふ状態で、接岸荷役よりもむしろ

商船學校一覽表

校名	所在地	科別	修業年限	資格	入學	募集人員	卒業後の特典
清水高等商船學校	清水市	航海科	二年	航海士	修了後二年	100名	(一) 卒業後は、航海士として二級の免許を授けられる。(二) 免状の有効期間は五年である。
富山商船學校	富山縣津浦町	航海科	三年	航海士	修了後一年	100名	(一) 卒業後は、航海士として二級の免許を授けられる。(二) 免状の有効期間は五年である。
鳥羽商船學校	鳥羽市	航海科	二年	航海士	修了後二年	100名	(一) 卒業後は、航海士として二級の免許を授けられる。(二) 免状の有効期間は五年である。
大島商船學校	大島町	航海科	二年	航海士	修了後二年	100名	(一) 卒業後は、航海士として二級の免許を授けられる。(二) 免状の有効期間は五年である。
鹿兒島商船學校	鹿兒島市	航海科	二年	航海士	修了後二年	100名	(一) 卒業後は、航海士として二級の免許を授けられる。(二) 免状の有効期間は五年である。
廣島商船學校	廣島市	航海科	二年	航海士	修了後二年	100名	(一) 卒業後は、航海士として二級の免許を授けられる。(二) 免状の有効期間は五年である。
粟島商船學校	粟島町	航海科	二年	航海士	修了後二年	100名	(一) 卒業後は、航海士として二級の免許を授けられる。(二) 免状の有効期間は五年である。
行刺商船學校	行刺町	航海科	二年	航海士	修了後二年	100名	(一) 卒業後は、航海士として二級の免許を授けられる。(二) 免状の有効期間は五年である。

備考 東京、神戸、清水の三高等商船學校は、一校に統合され、従来の東京、神戸、清水高等商船學校、定期高等海員養成所になりました。在学中は高質賃、特別は奨励されます。女性名學校とも、入學期は毎年四月、在学中は高質賃、特別は奨励されます。

る船と勞務者に、よる沖荷役が主役を演じてゐます。これは一面、我が國のやうに水路や河川の多いところでは、水運の便を利用する方が、陸上小運送によるよりも低廉で大量に輸送できるといふ事情にもよるのです。急速に施設の充實を圖ることは困難ですが、荷役能率を最高度に擧げるには、これ等の勞務者と船を有機的に綜合運用することが最も必要なことで、これまで濫立

され、しかも海運業者の専屬の下請として特殊な關係にあつた各種港灣作業會社を統合して、一港一社にまとめたのが港運會社です。この國策會社を中心に海運局、船運會社、運航實務者が一體となつて毎日の荷役状況を検討し、翌日の荷役船の順位を決めたり、萬般の手に配に完備を期する等、いはゆる計畫荷役の實施に邁進してをります。戦局の重大性に鑑み、特に、この三四月の二ヶ月を海上輸送力非常動員期間と定め、運輸通信省海運總局内に推進本部を置き、全國主要港に指令を飛ばして港灣の總力をあげて二割増送の目的達成に目下大奮になつてをります。海員はもとより港灣勞務者の晝夜を分たぬ勞苦は大變です。政府ではこれに對し謝意を表し、一層の敢闘を願ふための奨励金を交付し、生活必需品を配給する等、出来るだけの措置を講じてをります。







風塔

女性に告ぐ

近頃、女性の防空服装が身に... 女性に告ぐ... 近頃、女性の防空服装が身に...

街に拾ふ

近頃、都電の乗務員の仕事ぶ... 街に拾ふ... 近頃、都電の乗務員の仕事ぶ...

週報

昭和十一年十月一日... 週報... 昭和十一年十月一日...

うとする節が目立つてきた... 或る驛では、幾つもある改札口を、早朝のためか一つしか開かず、客にずり列をつくらせて、それが當り前のやうな執務ぶりであった。また殺到する荷物を處理する係員も、たゞ荷物に追つかかれ放しで、一向にその任務と取組んでゆくといふ氣概がみえなかつた。

週日間

三月三十日(金) 北樺太石油、石炭利権の移譲に關する議定書と漁業條約の五ヶ年延長に關する議定書に關する議定書(モスクワ) 三月三十一日(金) 續印作戦に關し大本營發表 中印作戦に關し三月二十八日夜民軍と共に三月二十八日夜半、インパール北方約四十キロに進出、インパール南部に進攻中の敵を攻撃中の我が部隊は三月一日以來、次々の戦果を挙げた。遺棄死傷約二千七百、俘虜七百六十、各種火砲二百六十、各種兵器約百五十、銃器彈藥多數、我が方の損害、戦死三百五十七名(全)。 三月二日(土) 舞鶴鎮守府司令官に牧田覺三郎中将が親補された旨海軍省公表 四月二日(日) 大元帥陛下、海軍各科少尉候補生に對し拜禮仰付けらる。 四月四日(火) カロリン諸島方面への敵機動部隊來襲に關し大本營發表。 三月十九日、有力なる敵機動部隊が同諸島南方に出現した我が航空部隊は、四月一日まで反復攻撃を加へ、巡洋艦二隻を撃沈、戦艦一隻、空母一隻、大破、大型艦一隻その他を大破、炎上。 この間、パラオ諸島、ヤップ、メレヨン諸島、我が部隊は、來襲の敵機を撃滅、約八十機以上を撃墜、我が方の損害若干。 三、またマインマルク、東カロリン方面所在の我が部隊は、來襲の敵基地航空部隊を撃滅、約六十機を撃滅、敵機を撃滅、約六十機を撃滅。 四月五日(水) 第三回帝國陸軍陸軍は豊竹古親大分發隊に受賞の旨、文部省發表。 四月五日(水) インド獨立に關し、第二次聲明をボリス首相發表。 四月五日(水) 陸軍部隊の三月中の對敵航空部隊戦果を大本營發表。 支那方面一撃九、撃破三二、ビルマ方面一撃八、撃破五二。 佛印タイ方面一撃三、ニギニア方面一撃一、三〇、撃破一七。 プリンシパル諸島方面一撃九、八、撃破六六。 合計一四八十七機うち不詳四十五機。 我が方の損害一自保未歸者四四、地上損害四九。